

自由が丘住区住民会議

設立三十周年記念事業が行われる

昭和54年2月25日に設立された自由が丘住区住民会議が、今年で30周年を迎えました。これを記念してさまざまな行事が行われています。

座談会

10月31日、自由が丘住区センター宮前分室で住民会議設立当初から活躍された方や現在活動されている方々で座談会が開催されました。住民会議発足当時の思い出や改善してきた取り組み、これからの住民会議のあり方について、2時間半に及ぶ熱のこもった話し合いが持たれました。

記念植樹

記念行事の一環として、

座談会には周年行事実行委員も出席

植樹式(写真右は宮前小、左は緑ヶ丘小)



宮前小学校と緑ヶ丘小学校に記念樹が贈られました。樹種は両校とも希望するドングリ系で、宮前小はコナラ、緑ヶ丘小はウメカシとなりました。植樹の場所は宮前小はA門寄りの校庭、緑ヶ丘小はヒートアップの教室寄り、ともに日当たりのよい目立つ場所です。植樹式は秋晴れの10月28日に、両校とも校長・副校長先生と4年1組の担任・児童及び住区側から参加しました。

絵画・作文の募集

「夢の自由が丘」というテーマで、住区に在住または通学の小中学生を対象に絵画と作文を募集しました。多数の力作が寄せられました。

記念誌の発行

来年5月の総会時に記念誌を発行の予定です。

「もし、東京で大地震が起きたら、あなたは・・・」

防災訓練を実施

11月15日(日)、今年度の防災訓練が、災害時の第一次避難場所である緑ヶ丘小学校で実施されました。AED(自動体外式除細動器)が公共施設をはじめ商店街や民間企業などに設置され、より身近な存在となっていました。今年度はより多くの方々に訓練していただくように、例年の倍の訓練用AEDを手配し、心肺蘇生法とあわせて消防団員の指導のもと、熱心に訓練が行われました。今回は大きな商店街をかねて自由が丘の復興組合の方々が、青木区長と共に来街者の皆様の避難誘導訓練として駅前から緑小まで移動、大きな成果をあげました。AEDは自由が丘住区センターと宮前分室にも設置されています。防災住区委員会

自由が丘住区の皆様には、日頃より消防行政にご理解、ご協力ありがとうございます。11月15日、雲一つない小春日和、4団体合同防災訓練が緑ヶ丘小学校で行われました。いろいろなメニューを体験していただきましたが、私は、住民の方が参加して近隣の皆さんと顔を合わせるのが防災訓練のうちのひとつです。人間関係が希薄な昨今、災害時に顔見知りの人がいて

防災訓練によせて

目黒消防署大岡山出張所
所長 堀田晶代

声をかけあえば、どんなに心強いことでしょう。私は静岡県出身なのですが、今年8月に発生した駿河湾沖地震では、こちらでも結構揺れて東海地震が発生したのかと思っていました。親戚や友人に電話をし、住宅用火災警報器の設置とダブルで、転倒落下防止も実施して下さい。益々寒くなりますが、火の用心と風邪・インフルエンザ用心をして、良いお年をお迎え下さい。

実際の東海地震は今回



AEDの使用



初期消火



宮前分室のAED

自由が丘住区住民会議 新年会のお知らせ

日時 1月26日(火) 午後6時より
会場 緑が丘文化会館 本館

一滴

住区住民会議に参加して、区と住区それぞれで「住区住民会議」について知っているかどうかの認知度調査を行いました。その結果、認知度は約半数、参加意識については、社会参加したくてもきっかけがない、あるいは、仕事で実際に時間がとれないなどの理由で二の足を踏んでいる実状が見えてきました。また困っていることや求めることの第一として防災があがっています。

一方で現在の住民会議では、活動する人が年々減少し、役員も高齢化してきています。また地域の防災訓練を行っても、参加者は地域の1%(約150人)に過ぎません。今後、地域をみんなで支えていくためには、若い人から高齢の方まで幅広い人が参加する住区住民会議が必要です。そのために、仕事を持っている人でも好きな時間に気楽に参加できるようなインターネットをメインにした参加や、幅広い層に対して認知度をあげるとともに、社会参加を身近に感じてもらえるようなきっかけ作りのイベントを開催するなど、より一層参加しやすい仕組みが大切になってくると思います。

自由が丘住区住民会議
会長 山本秀代

10月11～12日の自由が丘女神まつりでは、住区住民会議が協賛し「サロンdeじゅうく」を開催しました。住区センターでは16団体の展示におおせいの人が訪れ、大変な賑わいを見せました。また、授乳やおむつ交換のできるベビールームも3部屋用意され、ママには大好評でした。



自由が丘女神まつり

幼児と小中学生が「大好きな自由が丘」をテーマに描いた作品のコンクールが、青少年住区委員会の主催、商店街振興組合の共催で実施されました。応募作品142点は、みずほ銀行自由が丘支店他2店舗に展示され、10月12日、自由が丘駅前特設会場にて、自由が丘大賞、女神賞、あおぞら賞あわせて9作品が表彰されました。



自由が丘大賞の作品

絵画コンクール表彰式



料理教室

9月30日、永田せい子講師から、人参とシチュー肉のバター煮込み、グリーンサラダ、ブルスケッタ、ペパーミントゼリーの4種類の料理を教えていただきました。今回の料理ではシチュー肉を長い時間煮込むので、よい肉を選べば手間いらずの料理です。この料理教室のメニューは一人暮らしの高齢の方にも好評で、年に2回でなく、回数を増やして欲しいとの感想をいただきました。



自由が丘住区センターと宮前分室は12月28日～1月4日まで休館します。

休館のお知らせ

委員会活動予定 (1～3月)

月	活動	委員会
1	書初め大会(7日)	青少年
	もちつき(宮前小 8日)	青少年
	歩こう会(24日)	地域活動
	住民会議新年会(26日)	総務
2	もちつき(緑ヶ丘小)	青少年
	リサイクルセール(14日)	地域活動
3	料理教室(11日)	地域活動
	桜まつり	総務

自転車の安全ルールとマナー守っていますか？
7月1日から東京都の道路交通規則が変わりました！

〔ながら運転が禁止に〕 (違反罰則は5万円以下の罰金)
○携帯電話を使いながらの運転が禁止
○傘をさしながらの運転が禁止
○荷物を手に持ったり、ハンドルにかけての運転も禁止

- 〔自転車安全利用五原則〕
- ① 自転車は車道走行が原則で、歩道は例外
 - ② 車道では左側通行
 - ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - ④ 安全ルールを守る
飲酒運転や二人乗り、並進は禁止。夜間はライトを点灯
信号遵守と一時停止、安全確認
 - ⑤ 幼児、児童はヘルメットを着用



駅前放置自転車追放クリーンキャンペーン

10月30日朝8時より自由が丘駅周辺で放置自転車追放のクリーンキャンペーンが行われました。区や住民会議、商店街、東急電鉄などの関係者が、イラスト入りのティッシュペーパーを渡しながらか通勤・通学客に放置自転車追放と駐輪場利用を呼び掛けました。来年度から工事が始められる駅前広場の改良後は、放置自転車セロの広場になることでしょうか。何といっても自転車愛用者のマナーの問題で、駐輪だけでなく、走行上のルールもよく守り、安全に利用すべきです。特に最近では高齢者の自転車による事故が増えています。これからはエコな車としてますます利用されるでしょう。人によさしいエコカーでありたいものです。

おまつり広場

苗木配布と物産販売

10月25日開催予定のおまつり広場みどりでは、インフルエンザ蔓延を配慮し、中止されました。しかし、苗木の配布と角田特産品の販売だけは同日午後一時から緑ヶ丘小学校正門内で行われました。住民会議からは、椿、あじさい、うつぎ、むくげの苗木合わせて58本が無料配布され、また、角田からは味噌と納豆が販売され、いずれも大好評でした。



歩こう会

11月8日、18名で自由が丘駅を出発し、渋谷・新宿を経由し、青梅線沢井駅に到着。寒山寺を見上げ御岳溪谷遊歩道をゆっくり歩き、多摩川でカヌーの練習をしている人、岩登りをしている人が見えました。暖かい日差しを受けて御岳小橋を渡り、玉堂美術館に到着。大銀杏の黄葉に一同感激。この木の下で昼食をとり、川合玉堂の作品を鑑賞し、御嶽駅で解散しました。自然と芸術の秋にふれた一日でした。



総務省による「地デジ」説明会 (無料)のご案内

平成23年7月24日で、現在のテレビ(地上アナログ)放送は終了し、地上デジタル放送(以下「地デジ」)に移行します。総務省の東京都中央テレビ受信者支援センター(愛称「デジサポ」)では、地デジ説明会を行うほか、個別相談にも応じます。目黒区では、総合庁舎や各住区センターでの説明会を予定しており、自由が丘住区では下表のとおり行われます。事前申込みは不要で、会場で先着順に参加できます。

会 場	説明会場	開催日	開始時間
自由が丘住区センター	第1・2会議室	1月14日(木)	13:30～
			15:30～
			19:00～
自由が丘住区センター宮前分室	第2会議室	1月18日(月)	13:30～
			15:30～
			19:00～

編集後記

西部地区スポーツ大会
1月24日(日)10時より
午前 ニューススポーツ紹介
午後 ミニ運動会
会場 八雲体育館

10月1日、「目黒区政功労者」として左記の方が目黒区より表彰されました。(敬称略)
地域自治振興功労
住区住民会議役員等
力 利男

区政功労者表彰

発行 自由が丘住区住民会議
目黒区自由が丘1-24-12
編集 広報委員会
電話 (3718)1195
メールアドレス
jiugak19@plum.plala.or.jp

広報委員会は住区ニュースを編集・発行するほか、ホームページも担当しています。6年前に開設したホームページへのアクセスは、2万4千回を超えました。このホームページでは、住区ニュースの写真をカラーで見られます。これからも住民会議の行事案内や活動報告など役立つ情報を提供してまいります。
松本敦雄